

7. 北東アジア非核兵器地帯条約国際議員連盟の設立宣言



日本、韓国の政府をして北東アジア非核兵器地帯構想を提案させることを目標に、日韓の国会議員有志が国際的な議員連盟を作った。2022年8月、長崎で行われた設立総会で挙げられた設立宣言を紹介する。

❖P3+3: 北東アジア非核兵器地帯条約を推進する国際議員連盟の設立宣言(抜粋)❖

2022年8月8日
P3+3設立総会(長崎市)

東西冷戦の象徴だったベルリンの壁は(略)、今では「ジャーマン・グリーンベルト」として(略)自然環境を保護し、東西統合と平和の象徴となっている。その反対に38度線は停戦後69年経つ現在でも朝鮮半島を分断し、(略)新たな南北冷戦の象徴になると同時に、核戦争の深刻な脅威になっている。

この度、8月9日の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列を契機とし、日韓の志を共にする議員が「北東アジア非核兵器地帯を推進する国際議員連盟」を発足させる。非核兵器地帯を構成する日韓当事国から本日の会議に参加した議員がリーダーシップをとって朝鮮半島の非核化を進め、現在停止している6か国協議メンバー国の政治意思決定者に参加を広げて行く。(略)

2022年5月21日には尹錫悦・バイデン、ソウル共同宣言では、(略)北朝鮮の非核化を含む朝鮮半島の非核化が宣言されている。

「朝鮮半島の非核化」が目標ならば、南北朝鮮と米国が首脳レベルで合意した2018年合意が依拠すべき基礎であることは明らかである。「3+3」は北朝鮮、韓国、日本の3か国が国際機関の検証を前提とした完全な非核兵器地帯を構成し、米中露の核兵器国がこの地域に対して核による攻撃、核の威嚇をしないことを定める国際条約であり、朝鮮半島と日本が一義的な当事者となる。P3+3では日本、韓国、あるいはその両国政府が北朝鮮の非核化を含む、「北東アジア非核兵器地帯3+3」の推進を正式に宣言することを短期的な目標とする。

この条約締結には、朝鮮戦争を終結させ、経済とエネルギー供給を安定させ、地域の安全保障の形を創ってゆく包括的アプローチが必要である。我々は、朝鮮半島を分断する全長250kmの38度線が「コリアン・グリーン・ベルト」として南北統合と平和の象徴となることを希求して行く。

出典:英語版が「北東アジア非核兵器地帯設立をめざすC3+3国際市民連合」のHPにある。
<https://www.3plus3.org/book-online>
アクセス日:2023年4月18日